

はじめまして。丁子屋の製造担当の宮本と申します。
『ちょうじや便り』という形で新聞を発行する事となりました。
文章を書くのは好きな方なのですが、まだまだ未熟ですので要領を得ないところも多いかと思えます。
不定期発行ですが、鹿児島島のニュースなどをお伝えしていきたいと思っておりますのでどうぞお付き合い下さい。
どうぞ宜しくお願い致します。

さて、大河ドラマの『篤姫』も最終回を迎えてしまい、一時の篤姫ブームも終焉なのかなあと思っております。視聴率が非常に高かったようで、平均視聴率はなんと25%近く、ここ数年の中でも突出しております。県外の方々はなかなか鹿児島まで来れないでしょうから、代わりに紹介させていただきます。今回は今まであまり有名でなかった『小松帯刀』の事を紹介致します。

今回の記事を書くにあたって日置市の吉利に最終回放送の日に行ってきました。会う人会う人親切で、本当に素晴らしい地域だと思いました。右に紹介した場所は篤姫の最終回の最後に2ヶ所とも紹介されていました。この他にも近くに日置島津家の墓など素晴らしい所が色々ありました。機会がございましたら是非とも吉利へ足を運んでみて下さい。

余談ですが、小松帯刀は日本最初の株式会社を設立したり、版籍奉還も日本で最初にやり、新婚旅行も坂本竜馬が最初ではなく、帯刀だったようです。

知れば知るほど、「何故こんな素晴らしい人が歴史に埋もれていたのか」と不思議になってしまいます。もっと我が県や日本も彼を紹介していかなければと思わされました。

ちなみに、当社は創業から約275年目です。

小松帯刀の頃はしょう油製造はやっていたとの事。もしかしたら当社のしょう油を使っていたかもしれません(笑) 勿論文献などないので確かな確証はございませんが…。

<<清浄寺にある小松帯刀像>>



この像は清浄寺というお寺にあります。吉利小学校の前にありまして、小学校を見守っているのだと言うことです。

また、住職様と奥様は本当に親切で、長い間話を聞かせていただいた上にお茶や手作りのお団子まで頂き、心から感謝致しました。

今年、『鶴瓶の家族に乾杯』でも放送されたようです。

他にも、『お近』さんの大事にしていた仏像やその兄の『蕭猷』の書いた額などもありました。

アクセス：日置市日吉町吉利3018

<<小松帯刀の墓>>



写真一番左が小松帯刀のお墓です。左隣りには奥さんのお近さんの墓もあります。ココでもボランティアの方にこの寒い中親切に色々詳しく説明していただきました。その後小松家は跡継ぎが産まれなかった為に西郷隆盛の弟の一族から養子を受け入れてきたようです。現在は東京都の方で商売をされているとのこと。

ココで、『帰りになんと豹の宰相小松帯刀伝下巻』という本を一冊頂きました。お父様が書かれた本だそうで、非常に詳しく書かれている素晴らしい本でした。

ココで、『帰りになんと豹の宰相小松帯刀伝下巻』という本を一冊頂きました。お父様が書かれた本だそうで、非常に詳しく書かれている素晴らしい本でした。